

地域活動協議会における取組事例

【生野区】(受託者等：코리아ジャパンセンター・特定非営利活動法人関西国際交流団体協議会・特定非営利活動法人大阪NPOセンター)

地域名	北巽地域	
地域活動協議会名	北巽まちづくり協議会 (形成時期：平成 24 年 12 月)	
地域の概要	人口：10,122 人 世帯数：4,585 世帯 (平成 27 年) (地域の特徴) 地下鉄北巽駅西側に位置し、人口は区で 2 番目に多い。店舗・事業所・マンションも多く、町会加入率は 44%と区で最も低い。区平均から見ると「高齢者率は低く (25%)」「未成年率は高い (15%)」	
取組内容 (名称)	北巽 with 留学生『いくの異文化交流フェスタ』	
地域課題等 (取組を行う前の、当該地域における地域課題やニーズの状況等)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の担い手の固定化、高齢化により、地域の方が多数集まるイベントはない。 ・既存の事業の継続だけで、若手の意見はあってもなかなか取り入れられない。 ・地域内に「日本語学校」があり多くの留学生が近隣に住んでいるが、地域との交流はない上に、習慣の違いにより生活トラブルも報告されていた。 	
取組概要 (地域活動協議会が主体となった取組事例を対象)	 <p>地域の日本語学校の 10 周年にあたり、記念の文化祭の開催を検討していたが、学校は狭く生徒数百人が集まる場所がない。そこで「北巽まちづくり協議会」と共催することにより、北巽小学校講堂と、北巽会館を使って開催できた (11 月)。 双方合同の実行委員会を組み準備に当たった。特に講堂設営、チラシによる告知、当日の飲食店舗出店、会場警備を「北巽まちづくり協議会」が担当した。</p>	
取組成果 (ビフォー・アフターで対比するなど、成果・効果をわかりやすく記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・当日は 600 名もの参加者があり (内 300 名外国人)、北巽地域最高の参加者のイベントになった。 ・イベント前に行われた「生野区防犯一斉パトロール (10 月)」でも、日本語学校の留学生 120 名が北巽の地域の町会に分かれてパトロール参加。 ・イベント後も「地域清掃」「もちつき大会」(12 月) にそれぞれ 100 名の留学生が参加し、地域住民との交流を行なった。 ・地域住民と留学生が、互いに知り合うきっかけとなっている。 	
受託者による支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語学校と地域代表を紹介しつなぎ、企画の実現へ地域・学校の双方に運営支援を行った。 ・実行委員会議を記録し互いの齟齬のないようにし、単発とならないよう前後にも交流を設定。 ・地域の「若手」に「留学生のお世話役」として手伝ってもらい、地域の長老との距離を縮めた。 	
区による支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会議に出席し、地域活動協議会補助金を活用して事業を進めることができるよう、日本語学校との役割分担及び費用負担について整理し、事業計画の変更等にかかる支援を行った。 	
活動分野 (複数可)	防犯・防災、子ども・青少年、福祉、健康、環境、文化・スポーツ、その他 ()	

地域名	北鶴橋・鶴橋・御幸森・勝山・東桃谷地域	
地域活動協議会名	Aブロックまちづくり協議会合同（形成時期：平成 24 年 11 月～25 年 3 月）	
地域の概要	人口：28,127 人 世帯数：13,765 世帯（平成 27 年） （地域の特徴）区北西部に位置し、コリアタウンを擁した北部の密集住宅地は在日コリアンの集住地で有名。南部は区役所はじめ官公庁が集中するも神社・山車なども含め古い町並みが残っている。どの地域も少子高齢化が進んでいる。	
取組内容（名称）	Aブロック合同広報ポスター	
地域課題等（取組を行う前の、当該地域における地域課題やニーズの状況等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック（5 地域）で合同広報は「広報誌」を作成してきたが、5 地域のアピールポイントがバラバラで統一感が取りにくい。 ・「まち協」事業であるにも関わらず「町会加入者」のみで「全戸配布」されていない地域も多い。 ・配布しきれない広報誌は使わないまま処分されていた。 	
取組概要（地域活動協議会が主体となった取組事例を対象）	 <p>毎月のブロック事務連絡会議で「合同広報」を行うにあたり各地域から「広報委員」を選出。これまでの広報の在り方の反省を踏まえて議論。その結果、「長く使えるもの」、「各地域の特色を出せるもの」という観点から、これまで続けていた「広報誌」作成を辞め、統一感と個性を兼ね備えた「各地域の広報ポスター」を作成することを決定。事務連絡会議に戻して決裁を得て実行した。</p>	
取組成果（ビフォー・アフターで対比するなど、成果・効果をわかりやすく記載）	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域の担当者が「その地域のアピールポイント」について考える機会になった。 ・ポスターの撮影・作成に当たり地域住民が協力をしたり、イベントでの撮影を行うなど他の催しと組み合わせ一体感を出せた。 ・完成した「ポスター」は各地域で貼りだされ、現在も長く使われている。 ・隣のBブロック（舍利寺・西生野・生野・田島・生野南・林寺の6地域）、Cブロック（中川・東中川・小路・東小路の4地域）も同様の広報ポスターを作成することになった。 	
受託者による支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック会議におけるファシリテーション。広報誌に対する反省と振り返り。広報への意見出し。 ・広報委員会の開催と、各広報委員とやり取りし「ポスター内容」を共に熟考。 ・ポスター撮影、制作の支援。 	
区による支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・広報の内容が地域活動協議会の趣旨に沿ったものであるか（政治的な活動についての広報となっていないか等）の確認。 ・地域活動協議会補助金による支援。 	
活動分野（複数可）	防犯・防災、子ども・青少年、福祉、健康、環境、文化・スポーツ、 <u>その他（広報）</u>	

地域名	巽南地域	
地域活動協議会名	巽南まちづくり協議会（形成時期：平成 25 年 1 月）	
地域の概要	人口：7,656 人 世帯数：3,430 世帯（平成 27 年） （地域の特徴）地下鉄南巽駅（終点）の南側に位置し、区の最南で平野区、東住吉区と接しており、工場と長屋などの住宅が近接のまち。未成年は 16.8%と区平均（13%）より多く、町会加入率は 54%	
取組内容（名称）	ボランティアグループ「キラキラ会」	
地域課題等（取組を行う前の、当該地域における地域課題やニーズの状況等）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の担い手が固定化し、新たな担い手の発掘が急務。 ・百歳体操をどこよりも早く導入し、区内に広げるきっかけとなった。元気な高齢者も多い。 ・事業アイデアは豊富だが、その実施の担い手と、後継の育成が課題。 	
取組概要（地域活動協議会が主体となった取組事例を対象）	 <p>ボランティアグループを募集。年齢も制限つけずに自由にやりたい人に集まってもらった。お茶など飲みながらリラックスした雰囲気です。「やりたいこと」など夢を語り、モチベーションを上げ企画をすすめた。夏には流しそうめんを実施。結果、昨年度に「巽南Tシャツ」を作成・販売し完売して利益を出す。今年度も追加生産。先進地域に「バスツアー」を組み研修し、12月には「朝市」3月には「移動動物園」を開催。地域に新たな波動を起こしている。</p>	
取組成果（ビフォー・アフターで対比するなど、成果・効果をわかりやすく記載）	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアグループを「キラキラ会」と命名し、担い手とセットでどんどん企画を生み出せるようになった。 ・他地域にはない独自企画を、地域課題から作るようになった。 ・企画をし、運営をする経験者が増え人材育成になっている。 ・他地域から学び、よいところはどんどん取り入れる土壌ができた。 	
受託者による支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「キラキラ会」の会議支援。企画出し支援。 ・先進地域視察のコーディネーター。企画実行における外部担い手の紹介（プロレス団体・移動動物園業者等）。 	
区による支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「キラキラ会」が発足する前段階から、現在の悩みや今後の展望などを傾聴しながら、アイデア出しを行った。 	
活動分野（複数可）	防犯・防災、子ども・青少年、福祉、健康、環境、文化・スポーツ、 <u>その他（広報）</u>	